



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月31日

上場会社名 タカノ株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画室長 (氏名) 臼井 俊行 TEL (0265) 85-3150

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	14,461	△22.7	213	△84.0	262	△81.1	121	△85.2
19年3月期第3四半期	18,704	4.6	1,337	△31.3	1,383	△30.8	823	△21.3
19年3月期	26,771		1,914		2,010		998	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	7	75	—	—
19年3月期第3四半期	52	36	—	—
19年3月期	63	53	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
20年3月期第3四半期	34,283		27,475		80.1	1,747	86
19年3月期第3四半期	35,760		27,606		77.2	1,756	15
19年3月期	36,573		27,741		75.9	1,764	75

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	1,132	△398	△483	4,594
19年3月期第3四半期	—	—	—	—
19年3月期	△1,777	△397	△40	4,349

(注) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の開示は当第3四半期より実施しておりますので、前年第3四半期の実績は記載していません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第3四半期末	
	円	銭
19年3月期第3四半期	—	—
20年3月期第3四半期	—	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）【参考】
業績予想につきましては、平成19年11月9日の中間決算発表時に公表した予想に修正はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
[新規 一社 除外 一社] : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- [(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお差し控えてください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、大企業を中心とした企業収益の改善を背景とした民間設備投資は堅調に推移し、景気全般としては緩やかな回復基調が続いたものの、原油をはじめとする原材料価格の高騰による影響や改正建築基準法施行の影響による住宅投資の低迷、加えて米国サブプライムローン問題を背景とした金融資本市場の変動等々、企業を取り巻く環境は、予断を許さない状況で推移いたしました。

このような環境の下、当第3四半期の売上高は14,461百万円（前年同四半期比22.7%減）、営業利益は213百万円（同84.0%減）、経常利益は262百万円（同81.1%減）、四半期純利益は121百万円（同85.2%減）となりました。

（セグメント別の状況）

【OEM事業】

OEM事業では、主力製品がかかわるオフィス家具業界は企業収益の改善にともない、首都圏をはじめとする大口需要家による設備投資意欲の拡大により、大口物件需要が増加したことにより需要は堅調に推移し、売上高は前年同四半期比255百万円（3.6%）増の7,417百万円となりました。営業損益においては、原材料価格の高騰等の影響もあったものの、事業全般にわたり積極的な合理化に努めたこと等により、前年同四半期比50百万円損益が改善され、50百万円の営業利益となりました。

【エレクトロニクス関連事業】

エレクトロニクス関連事業では、液晶以外の分野における検査装置の積極的な営業活動を展開したものの、液晶パネル価格の大幅な低下に起因し、主に台湾および韓国液晶パネルメーカーが液晶製造設備投資を手控えたことにより液晶検査装置需要は大幅に減少したため、売上高は前年同四半期比4,429百万円（42.3%）減の6,041百万円となりました。営業利益においては経費削減等、積極的なコストダウンの推進を行ったものの、装置価格の低下および操業の低下にともない収益性は大きく悪化し、前年同四半期比1,018百万円（89.6%）減の117百万円となりました。

【その他の事業】

その他の事業の外部顧客に対する売上高は、前年同四半期比69百万円（6.5%）減の1,002百万円となりました。利益面においては、画像処理検査装置に関連した内部売上高の減少等にとまなう操業度の低下等により、営業利益は前年同四半期比182百万円（92.8%）減の14百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、34,283百万円となり、前連結第3四半期末に比べ1,477百万円減少しました。純資産合計は27,475百万円となり、前連結第3四半期末に比べ130百万円減少しました。この結果、自己資本比率は80.1%と2.9ポイント改善いたしました。

資産の部については、前連結第3四半期末に対し、主に現金及び預金が925百万円、棚卸資産が110百万円増加する一方、受取手形及び売掛金が2,521百万円減少したこと等により、流動資産は1,368百万円減少し、22,350百万円となりました。固定資産合計は主に有形固定資産の当四半期中における減価償却による減少により、109百万円減少し、11,932百万円となりました。

負債の部については、主に支払手形及び買掛金が1,181百万円減少したこと等により、負債合計は1,347百万円減少し、6,807百万円となりました。

純資産の部については、主にその他有価証券評価差額金の減少112百万円等により、純資産合計は27,475百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、原油をはじめとする素材価格の高騰による企業収益の圧迫等の影響を含め、企業収益の改善に足踏みがみられるとともに、当面その影響が続くものと思われる改正建築基準法施行にとまなう住宅着工の減少等々により、景気は減速することが懸念されております。また、米国サブプライムローン問題を背景とし、米国景気においても下ぶれが懸念されているなど、企業を取り巻く環境は予断を許さない状況で推移するものと思われまます。

当社グループOEM事業の主力であるオフィス家具業界においては、素材価格のさらなる高騰も懸念されるものの、今後も引き続き、首都圏における大口物件需要は堅調に推移するものと思われまます。

当社グループエレクトロニクス関連事業の主力である画像処理検査装置が関連する業界においては、今第4四半期においても液晶パネルメーカーは引き続き設備投資を手控えること等により、液晶検査装置需要も低調に推移するものと考えられますが、足元においては、液晶パネル需給の改善にとまなうパネル価格の安定化により、液晶パネルメーカーの業績回復が見られ、設備投資意欲も拡大しており、来連結会計年度納入の液晶検査装置の引き合いは活発化しております。

このような状況のもと、OEM事業においては引き続き、商品開発力のさらなる強化、新規取引先の開拓および経営効率の向上を図るための思い切った合理化に注力するとともに、エレクトロニクス関連事業においては、次世代基板液晶製造ライン向け受注活動の強化、コア技術開発・徹底した装置のコストダウンの推進およびFPD以外の検査装置分野を含む新市場への参入を果たすための営業活動に注力し、事業基盤の安定および拡充を図ってまいります。

なお、OEM事業の主力製品であるオフィス家具の需要は季節性を有しており、例年第4四半期が最需要期となっております。

以上の見通しにより業績予想につきましては、平成19年11月9日の決算発表時に公表した予想に修正はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ① 棚卸資産に関して、実地棚卸を行わず、帳簿棚卸によっております。
- ② 税金費用に関して、法人税等の計上基準は法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
- ③ その他、影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続を用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

平成19年度の法人税法改正にともない、当連結四半期会計期間より、平成19年4月1日以降取得した有形固定資産については「新定率法」を採用しております。

5.（要約）四半期連結財務諸表

(1)（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：千円未満切捨、％）

	前年同四半期末 平成19年3月期 第3四半期末	当四半期末 平成20年3月期 第3四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	4,185,680	5,111,663	925,983	22.1	4,688,754
2. 受取手形及び売掛金	15,202,243	12,680,801	△2,521,441	△16.6	16,150,324
3. 有価証券	149,247	249,159	99,911	66.9	149,477
4. 棚卸資産	3,604,702	3,714,765	110,062	3.1	2,891,606
5. 繰延税金資産	236,513	282,272	45,758	19.3	297,010
6. その他	351,269	412,438	61,168	17.4	297,277
7. 貸倒引当金	△10,606	△100,385	△89,779	—	△128,791
流動資産合計	23,719,050	22,350,715	△1,368,335	△5.8	24,345,661
II 固定資産					
(1) 有形固定資産					
1. 建物及び構築物	1,795,446	1,692,759	△102,687	△5.7	1,791,096
2. 機械装置及び運搬具	777,973	763,400	△14,573	△1.9	843,160
3. 土地	4,399,457	4,399,457	—	—	4,399,457
4. その他	472,843	453,111	△19,732	△4.2	422,078
有形固定資産合計	7,445,721	7,308,728	△136,992	△1.8	7,455,792
(2) 無形固定資産	91,145	113,989	22,843	25.1	117,936
(3) 投資その他の資産					
1. 投資有価証券	4,020,218	3,441,389	△578,829	△14.4	3,950,561
2. 繰延税金資産	189,969	304,497	114,528	60.3	266,244
3. その他	573,589	988,157	414,568	72.3	942,719
4. 貸倒引当金	△1,697	△224,194	△222,496	—	△228,499
5. 投資損失引当金	△277,247	—	277,247	—	△277,247
投資その他の資産合計	4,504,831	4,509,849	5,018	0.1	4,653,777
固定資産合計	12,041,698	11,932,567	△109,130	△0.9	12,227,506
資産合計	35,760,749	34,283,282	△1,477,466	△4.1	36,573,167

	前年同四半期末 平成19年3月期 第3四半期末	当四半期末 平成20年3月期 第3四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	5,787,761	4,606,359	△1,181,402	△20.4	6,172,002
2. 未払法人税等	78,239	8,995	△69,244	△88.5	234,499
3. 賞与引当金	214,649	179,610	△35,039	△16.3	339,752
4. その他	1,360,257	1,120,180	△240,077	△17.6	1,114,392
流動負債合計	7,440,908	5,915,145	△1,525,763	△20.5	7,860,646
II 固定負債					
1. 長期借入金	66,000	234,000	168,000	254.5	287,000
2. 退職給付引当金	538,031	520,727	△17,303	△3.2	556,090
3. 役員退職慰労引当金	109,435	125,930	16,495	15.1	116,230
4. その他	—	11,560	11,560	—	11,790
固定負債合計	713,466	892,217	178,751	25.1	971,110
負債合計	8,154,375	6,807,363	△1,347,012	△16.5	8,831,757
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	2,015,900	2,015,900	—	—	2,015,900
2. 資本剰余金	2,355,417	2,355,417	—	—	2,355,417
3. 利益剰余金	22,977,718	22,960,844	△16,874	△0.1	23,153,397
4. 自己株式	△1,008	△1,033	△25	—	△1,033
株主資本合計	27,348,028	27,331,128	△16,899	△0.1	27,523,682
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	254,808	142,228	△112,580	△44.2	213,311
2. 為替換算調整勘定	3,537	2,562	△974	△27.6	4,416
評価・換算差額等合計	258,345	144,790	△113,554	△44.0	217,728
III 少数株主持分	—	—	—	—	—
純資産合計	27,606,374	27,475,919	△130,454	△0.5	27,741,410
負債純資産合計	35,760,749	34,283,282	△1,477,466	△4.1	36,573,167

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円未満切捨、%)

	前年同四半期 平成19年3月期 第3四半期	当四半期 平成20年3月期 第3四半期	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	18,704,839	14,461,911	△4,242,928	△22.7	26,771,662
II 売上原価	14,949,012	12,110,760	△2,838,252	△19.0	21,650,838
売上総利益	3,755,826	2,351,150	△1,404,675	△37.4	5,120,824
III 販売費及び一般管理費	2,418,734	2,137,862	△280,871	△11.6	3,205,886
営業利益	1,337,092	213,287	△1,123,804	△84.0	1,914,937
IV 営業外収益	59,104	69,160	10,056	17.0	118,348
V 営業外費用	12,612	20,394	7,781	61.7	22,610
経常利益	1,383,584	262,054	△1,121,530	△81.1	2,010,675
VI 特別利益	14,192	32,167	17,974	126.7	28,625
VII 特別損失	2,314	17,756	15,441	667.2	409,102
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,395,462	276,464	△1,118,997	△80.2	1,630,198
税金費用	584,821	154,622	△430,198	△73.6	643,877
少数株主損失	△12,412	—	12,412	—	△12,412
四半期(当期)純利益	823,053	121,842	△701,211	△85.2	998,732

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円未満切捨)

区 分	当四半期	(参考) 前期
	平成20年3月期 第3四半期	(平成19年3月期)
	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期（当期）純利益	276,464	1,630,198
減価償却費	394,267	446,372
貸倒引当金の増加額（△減少額）	△32,710	344,655
賞与引当金の減少額	△160,119	△87,243
役員賞与引当金の増加額（△減少額）	△7,100	7,100
退職給付引当金の増加額（△減少額）	△35,362	△88,483
役員退職慰労引当金の増加額	9,700	12,770
受取利息及び受取配当金	△50,845	△55,861
支払利息	5,025	3,250
為替差損（△為替差益）	2,767	△2,233
固定資産売却益	△1,205	△750
固定資産除売却損	15,393	14,742
投資有価証券評価損	3,868	—
投資有価証券売却益	△1,022	—
ゴルフ会員権評価損	—	2,100
その他の営業外費用	1,928	2,011
前期損益修正益	—	△13,699
売上債権の減少額（△増加額）	3,470,842	△1,708,473
棚卸資産の減少額（△増加額）	△823,296	238,960
その他資産の増加額	△116,716	△78,066
仕入債務の減少額	△1,565,273	△1,136,991
未払消費税等の増加額（△減少額）	△64,180	34,533
その他負債の増加額（△減少額）	119,920	△99,273
役員賞与の支払額	—	△6,000
小計	1,442,346	△540,384
利息及び配当金の受取額	48,017	54,770
利息の支払額	△4,904	△3,848
法人税等の支払額	△352,466	△1,288,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,132,992	△1,777,764
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△591,064	△1,108,113
定期預金の払戻による収入	363,000	1,178,112
有価証券の取得による支出	—	△51,856
有価証券の売却・解約による収入	837	11,540
有価証券の償還による収入	—	80,000
有形固定資産の取得による支出	△220,906	△445,661
有形固定資産の売却による収入	50,772	1,184
投資有価証券の取得による支出	△643	△10,974
投資有価証券の売却・解約による収入	11,179	—
投資有価証券の償還による収入	—	22,306
その他投資活動による収入	3,234	1,514
その他投資活動による支出	△15,348	△75,485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△398,938	△397,432

	当四半期 平成20年3月期 第3四半期	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△67,366	100,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△102,000	△126,000
自己株式の取得による支出	—	△25
親会社による配当金の支払額	△314,395	△314,396
財務活動によるキャッシュ・フロー	△483,761	△40,421
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,447	4,465
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額（△減少額）	244,844	△2,211,153
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	4,349,751	6,560,905
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	4,594,596	4,349,751

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期（平成19年3月期第3四半期）

	OEM事業 (千円)	エレクトロニクス関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	7,161,447	10,471,141	1,072,250	18,704,839	—	18,704,839
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,757	4,919	1,121,437	1,129,113	(1,129,113)	—
計	7,164,204	10,476,060	2,193,688	19,833,953	(1,129,113)	18,704,839
営業費用	7,164,511	9,340,036	1,997,538	18,502,085	(1,134,338)	17,367,747
営業利益又は営業損失(△)	△307	1,136,024	196,150	1,331,867	5,225	1,337,092

当四半期（平成20年3月期第3四半期）

	OEM事業 (千円)	エレクトロニクス関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	7,417,352	6,041,979	1,002,579	14,461,911	—	14,461,911
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4,202	181	572,952	577,336	(577,336)	—
計	7,421,555	6,042,160	1,575,532	15,039,248	(577,336)	14,461,911
営業費用	7,370,688	5,924,254	1,561,476	14,856,419	(607,795)	14,248,623
営業利益	50,866	117,906	14,056	182,829	30,458	213,287

(参考) 前期（平成19年3月期）

	OEM事業 (千円)	エレクトロニクス関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	11,414,579	13,958,843	1,398,239	26,771,662	—	26,771,662
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,854	3,399	1,725,294	1,734,549	(1,734,549)	—
計	11,420,434	13,962,243	3,123,534	28,506,212	(1,734,549)	26,771,662
営業費用	11,009,325	12,733,546	2,867,279	26,610,152	(1,753,426)	24,856,725
営業利益	411,108	1,228,697	256,254	1,896,060	18,877	1,914,937

(5) 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	前年同四半期比 (%)
OEM事業 (千円)	7,928,568	105.8
エレクトロニクス関連事業 (千円)	6,020,753	58.0
その他の事業 (千円)	253,645	109.6
合計 (千円)	14,202,967	78.5

(注) 金額は販売価格によっており、セグメント間取引は相殺消去しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期の受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
OEM事業 (千円)	7,473,770	101.4	933,964	89.3
エレクトロニクス関連事業 (千円)	5,603,316	57.8	4,217,981	67.6
その他の事業 (千円)	1,000,983	91.6	17,350	86.8
合計 (千円)	14,078,070	77.5	5,169,295	70.8

(注) セグメント間取引は相殺消去しており、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	前年同四半期比 (%)
OEM事業 (千円)	7,417,352	103.6
エレクトロニクス関連事業 (千円)	6,041,979	57.7
その他の事業 (千円)	1,002,579	93.5
合計 (千円)	14,461,911	77.3

(注) セグメント間取引は相殺消去しており、消費税等は含まれておりません。

以上